

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公表番号】特表2002-530416(P2002-530416A)

【公表日】平成14年9月17日(2002.9.17)

【出願番号】特願2000-583919(P2000-583919)

【国際特許分類】

**C 0 7 F 17/00 (2006.01)**

C 0 7 F 7/00 (2006.01)

C 0 7 F 7/08 (2006.01)

C 0 8 F 4/645 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 F 17/00

C 0 7 F 7/00 A

C 0 7 F 7/08 C

C 0 8 F 4/645

C 0 8 F 10/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

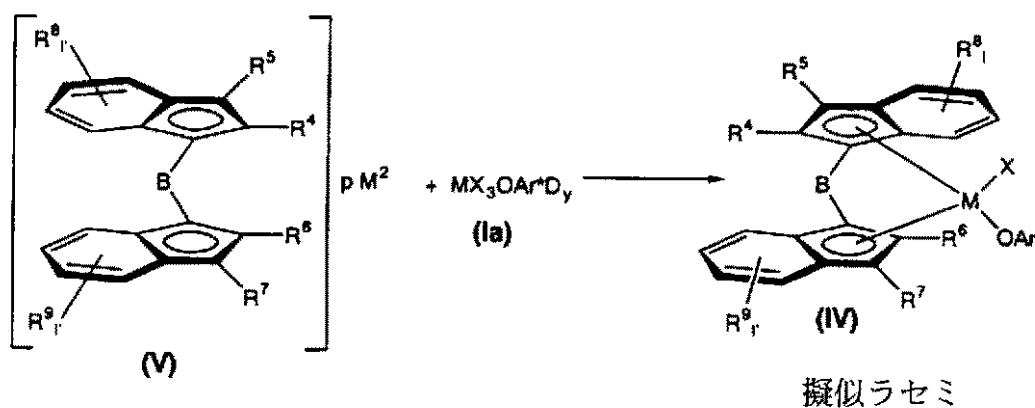
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

以下の式(V)で表される配位子出発化合物を、以下の式(Ia)で表される遷移金属化合物と反応させることにより、以下の式(IV)で表される、アンサ-モノアリーロキシ-ビスインデニルオキシ-メタロセンを製造する請求項1に記載の製造方法であって

【化2】



上記式中、MがTi、Zr又はHfを表わし、

Xがハロゲン原子を表わし、

ArがC<sub>6</sub>~C<sub>40</sub>芳香族基、C<sub>5</sub>~C<sub>24</sub>ヘテロアリール、C<sub>7</sub>~C<sub>30</sub>アルキルアリール、

フッ素化  $C_6 \sim C_{24}$  アリール又はフッ素化  $C_7 \sim C_{30}$  アルキルアリール、好ましくは  $C_1 \sim C_6$  アルキル及び / 又は  $C_6 \sim C_{10}$  アリール基で置換された  $C_6 \sim C_{14}$  アリール基を表わし、

D が非荷電ルイス塩基配位子、好ましくは直鎖、環式又は分枝状の、酸素、硫黄、窒素又はリン含有炭化水素、特に好ましくはエーテル、ポリエーテル、アミン又はポリアミンを表わし、

$M^2$  が Li、Na、K、MgCl、MgBr、Mg 又は Ca を表わし、

$R^4$ 、 $R^6$  が相互に同一であっても異なってもよく、それぞれ水素原子、又は  $C_1 \sim C_{20}$  基、好ましくは  $C_1 \sim C_{18}$  アルキル、 $C_2 \sim C_{10}$  アルケニル、 $C_3 \sim C_{15}$  アルキルアルケニル、 $C_6 \sim C_{18}$  アリール、 $C_5 \sim C_{18}$  ヘテロアリール、 $C_7 \sim C_{20}$  アリールアルキル、 $C_7 \sim C_{20}$  アルキルアリール、フッ素化  $C_1 \sim C_{12}$  アルキル、フッ素化  $C_6 \sim C_{18}$  アリール、フッ素化  $C_7 \sim C_{20}$  アリールアルキル又はフッ素化  $C_7 \sim C_{20}$  アルキルアリールを表わし、

$R^5$ 、 $R^7$  が同一であっても異なってもよく、それぞれ水素原子、又は  $C_1 \sim C_{20}$  基、好ましくは  $C_1 \sim C_{18}$  アルキル、 $C_2 \sim C_{10}$  アルケニル、 $C_3 \sim C_{15}$  アルキルアルケニル、 $C_6 \sim C_{18}$  アリール、 $C_5 \sim C_{18}$  ヘテロアリール、 $C_7 \sim C_{20}$  アリールアルキル、 $C_7 \sim C_{20}$  アルキルアリール、フッ素化  $C_1 \sim C_{12}$  アルキル、フッ素化  $C_6 \sim C_{18}$  アリール、フッ素化  $C_7 \sim C_{20}$  アリールアルキル又はフッ素化  $C_7 \sim C_{20}$  アルキルアリールを表わし、

$R^8$  及び  $R^9$  が同一又は異なってもよく、それぞれ水素原子、ハロゲン原子又は  $C_1 \sim C_{20}$  基、好ましくは直鎖又は分枝状の  $C_1 \sim C_{18}$  アルキル、 $C_2 \sim C_{10}$  アルケニル、 $C_3 \sim C_{15}$  アルキルアルケニル、置換又は非置換の  $C_6 \sim C_{18}$  アリール、特に、フェニル、トリル、キシリル、tert-ブチルフェニル、エチルフェニル、ナフチル、アセナフチル、フェナントレニルもしくはアントラセニル、 $C_5 \sim C_{18}$  ヘテロアリール、 $C_7 \sim C_{20}$  アリールアルキル、 $C_7 \sim C_{20}$  アルキルアリール、フッ素化  $C_1 \sim C_{12}$  アルキル、フッ素化  $C_6 \sim C_{18}$  アリール、フッ素化  $C_7 \sim C_{20}$  アリールアルキル又はフッ素化  $C_7 \sim C_{20}$  アルキルアリールを表すか、或いは

2 個の基  $R^8$  及び  $R^9$  が、置換されていても良い単環又は多環の環式基を形成し、

1、1' が同一でも異なってもよく、それぞれ 0 ~ 4 の整数、好ましくは 1 又は 2、特に好ましくは 1 を表わし、

プラス 2 価の金属イオンの p は 1 を、プラス 1 価の金属イオンもしくは金属イオンフラグメントの p は 2 を表わし、

y が 0 ~ 2 を表わし、

B が 2 個の インデニル基 の間の架橋構造元素を表す アンサ - モノアリールオキシ - ビスインデニルオキシ - メタロセン の製造方法。